

(2) 本事業に係る企画提案概要

1) 本事業における運行計画概要 (A4 縦1頁で記入)

a) 車両基地 (車庫)		①所在地 : 新潟市西区寺地 123 番 3 ②面積 : 11,017.38 m ² ③所有者 : 新潟交通株式会社が所有。一部借地。
b) 運行時間, 運行本数	平日	①運行時間帯 : 05 時 10 分 ~ 24 時 10 分 ②ピーク時間 : 07 時 ~ 09 時 / 17 時 ~ 19 時 : 15 ~ 20 本 / 時間 ③その他時間 : 09 時 ~ 17 時 : 6 ~ 12 本 / 時間・深夜早朝 : 5 ~ 6 本 / 時間
	休日	①運行時間帯 : 05 時 10 分 ~ 24 時 10 分 ②ピーク時間 : 07 時 30 分 ~ 09 時 30 分 : 15 ~ 20 本 / 時間 ③その他時間 : 09 時 ~ 19 時 : 6 ~ 12 本 / 時間・深夜早朝 : 5 ~ 6 本 / 時間
c) 料金体系 ※定額料金を想定		①正規運賃 : 200 円 (※消費税増税分は現時点で含んでいません。) ②割引制度 : 小人 100 円、障害者割引、環境定期券、子供ワンコイン
d) 乗り継ぎ料金の收受方式 ※路線バスとの乗り継ぎにおける対応方法		りゅーと(ICカード)による車内自動精算。 ※券売機や精算機による車外精算やデジタル整理券機などの設置が可能になると、現金利用者も乗継負担がなくなります。
e) 想定利用者数 ※幅を持たせた表記でもよい		BRTのみ : 4,500 ~ 5,500 / 2,700 ~ 3,300 人 / 日 (平日・休日別) 路線バスのみ : 57,000 ~ 69,000 / 29,000 ~ 35,000 人 / 日 (平日・休日別) BRTと路線バス : 61,500 ~ 74,500 / 31,700 ~ 38,300 人 / 日 (平日・休日別)
f) 目標利用者数		開業から3年後 : 61,500 ~ 74,500 / 31,700 ~ 38,300 人 / 日 (平日・休日別) 開業から5年後 : 61,500 ~ 74,500 / 31,700 ~ 38,300 人 / 日 (平日・休日別) ※新潟市将来推計人口は平成27年、32年は対平成22年比で1.5%、3.6%それぞれ減少する予測のため利用対象者数が減少するが、目標利用者数は実質3年後1.5%増、5年後3.8%増を目指す。
g) BRTの組織体制と 人員(増員)配置計画		①運行 : 組織は担当予定営業所の管轄下におき、運転士は選抜します。 ②維持管理 : 運行の組織体制に準じますが、整備は一部社外発注です。
h) サービス水準を維持するための チェック事項とその体制		高い定時運行率を実現するために、AGS やドライブレコーダーによるダイヤ編成、駅の運用、運転士の技術などを常時チェックしフィードバックしていきます。
i) 収支 ※路線バスについては再編後の状況を記入すること	BRT	① 走行距離 : 638,154km / 年 ② 収入 : █████ 千円 / 年 █████ ③ 運行経費 : █████ 千円 / 年 (█████ 円 / キロ) ※ 運行経費の内訳を別添すること
	路線バス	① 走行距離 : 9,960,560km / 年 ② 収入 : █████ 千円 / 年 █████ ③ 運行経費 : █████ 千円 / 年 (█████ 円 / キロ) ※ 運行経費の内訳を別添すること
j) 安全対策 ※安全管理に係る組織体制や運行時の安全対策		「親切と安全それが仕事」を安全方針として運輸安全マネジメント制度を導入し、安全管理体制の構築を図っています。また既に導入しているデジタルタコグラフ・ドライブレコーダーを安全運転教育に活用し安全対策に万全を期します。
k) 定時性確保の工夫 ※バス運行状況のモニタリングや乗降(精算)の効率化等		AGS やドライブレコーダーを利用し、遅れの要因をモニタリングし運行にフィードバックしていきます。またりゅーと(ICカード)の普及促進に努めて定時性確保につなげます。※更なる定時性確保のために様式11で詳述しています。
l) 利用促進に向けた創意工夫		鉄道各社が使用しているカラーライン化(色による路線の識別化)の導入や営業時間の拡大、定時性確保により利用を促進していきます。
m) わかりやすさの確保の工夫		バス路線網再編により路線内における系統数を整理し、行先のわかりやすさを演出します。また、営業時間の統一化や駅やバス停の案内アイコンを統一することでわかりやすさを確保します。
n) 環境対策		移動するための各交通手段を組合せることで、気軽に移動しやすい交通体系を構築し、バス路線網の利用を促進し街全体の排出ガスの削減を目指します。

※数値の根拠については、「(様式8) 本事業における運行計画の詳細について」で記述すること